

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは（1 つの設問につき）1 点減点。
- ③ 指定用語不使用は 1 点減点。
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」と「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1 点加点する。

第 1 問

設問 A

(1) 3 点

ア－d イ－c ウ－a エ－b

※4 個正解 →3 点 2～3 個正解 →2 点 1 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 3 点 (2 行)

雨季と乾季がある熱帯で、雨季に有機分が流出し、乾季に鉄・アルミニウム分が表面に集積する、やせた赤土ラトソルである。

【加点ポイント】

- ① (気候について) 熱帯／雨季と乾季がある／サバナ気候 →1 点
- ② (土壌の名称として) ラトソル／ラテライト →1 点
- ③ (土壌の特徴として) やせた／赤土／鉄・アルミニウムに富む →1 点

(3) 4 点 (2 行)

Q では被圧地下水を掘り抜き井戸で汲み上げて粗放的な牧羊を、R では東部沿岸から導水して小麦中心の集約的な混合農業を行う。

【加点ポイント】

- ① (Q について) 「粗放的」な「牧羊／羊を飼う」→1 点
- ② (Q の用水確保について) 「被圧地下水」を「掘り抜き井戸」で取水する →1 点
- ③ (R について) 「集約的／企業的」な「混合農業／穀物農業／小麦栽培」→1 点
- ④ (R の用水確保について) 東部から導水／スノーウィーマウンテンズ計画により水を引く
／山を貫くトンネルにより水を確保 →1 点

2019 年度 最終 1 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

設問 B

(1) 1 点 X

(2) 4 点 (3 行)

【指定語句】 化石燃料 古期造山帯 新期造山帯 3 つ全て 下線付きで使用

地形が平坦な X では古期造山帯の豊富な石炭や海底の油田などの化石燃料に依存してきたが、燃料資源に乏しい Y では新期造山帯の地形を活かした水力発電や地熱発電の開発に注力したから。

【加点ポイント】

- ① (X : オーストラリアは) 「古期造山帯」で「石炭」を産出する →1 点
- ② (Y : ニュージーランドは) 新期造山帯に属する →1 点
- ③ (Y : ニュージーランドは) 「水力」と「地熱」を利用する →1 点
- ④ (X : オーストラリアは) 化石燃料に依存する／化石燃料が豊富
／(Y : ニュージーランドは) 化石燃料に依存しない／化石燃料が乏しい →1 点

設問 C

(1) 2 点 (1 行)

日付の更新を行うため、ほぼ経度 180 度線に沿って設けた線。

【加点ポイント】

- ① 経度 180 度／東経 180 度／西経 180 度 に沿う →1 点
- ② 日付の更新を行う／その西側と東側で日付を変更する／越えて西に行くと次の日付になる
／越えて東に行くと 1 日前の日付になる →1 点

(2) 3 点 (2 行)

欧米諸国に代わり、貿易相手・移住先として重要になったオーストラリアやニュージーランドの時間帯に近づけ、利便性を高める。

【加点ポイント】

- ① (国際関係の面から) オーストラリアやニュージーランドとのつながりが強い
／アジア・太平洋諸国との関係を重視した
／オーストラリアやニュージーランドの日付に合わせた →2 点
- ② (経済面から①は) 貿易相手である／移住先となる／輸出入が多い／取引が多い →1 点

第 2 問

設問 A

(1) 3 点

(ア)ーオーストラリア (イ)ーアメリカ合衆国 (ウ)ー中国

(エ)ーロシア (オ)ーブラジル

※5 個正解 →3 点 4～3 個正解 →2 点 2～1 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 1 点 (1 行)

国土の大半が乾燥帯であり、蒸発量が降水量に対して多いため。

【加点ポイント】(※(1)(ア)の可否は問わない)

① 乾燥帯である／乾燥している／蒸発量が多い →1 点

(※「砂漠が多い」では加点しない)

(3) 2 点 (2 行)

乾燥気候下にあるグレートプレーンズの地下水資源を利用して、センターピボット方式で小麦やとうもろこしが生産されている。

【加点ポイント】

★(1)「(イ)ーアメリカ合衆国」を正解していることが加点の前提

① センターピボット →1 点

② (①により) 小麦／とうもろこし／穀物／飼料 を栽培する →1 点

(4) 3 点 (2 行)

黄河流域で水資源が不足する。砂漠化の影響が見られる黄河上・中流では土壌侵食、取水量が多い下流地域では流量の減少が生じる。

【加点ポイント】

★(1)「(ウ)ー中国」を正解していることが加点の前提

① (農業用水が不足する地域として) 黄河流域／ゴビ砂漠／黄土高原／ホワンツー高原 →1 点

② (地域問題として) 砂漠化の進行／土壌侵食／塩害／保水力の低下 →1 点

③ (地域問題として) 流量の減少／断流 →1 点

2019 年度 最終 1 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

(5) 2 点 (2 行)

(エ)国ではタイガと呼ばれる常緑針葉樹の純林や混合林が、(オ)国では多様な常緑広葉樹が層をなすセルバと呼ばれる密林がみられる。

【加点ポイント】

★①は(1)「(エ)ーロシア」、②は(1)「(オ)ーブラジル」を正解していることが加点の前提

① ((エ)国について)「タイガ」と「針葉樹／混合林」 →1 点

② ((オ)国について)「セルバ」と「常緑広葉樹／熱帯雨林」 →1 点

→ ※ (「広葉樹／落葉広葉樹」では加点しない)

設問 B

(1) 2 点

I－ヨーロッパ II－ラテンアメリカ III－東南・南アジア

※3 個正解 →2 点 1～2 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 2 点 (1 行)

経済水準が高い EU の共通市場の下で、輸出入額が共に大きい。

【加点ポイント】

★「(1)－I」を正解していることが加点の前提

① 輸出入額が大きい／輸出も輸入も多い／輸入が多い／貿易額が高い →1 点

② (①の背景として) EU／ヨーロッパ連合／経済水準が高い／所得が高い／国内需要が高い →1 点

(3) 2 点 (2 行)

乾燥地帯に多い穀物や畜産物の輸出国における水資源の過度な消費や、農産物の輸送に伴う二酸化炭素排出量の増加が指摘される。

【加点ポイント】

① (輸送による) 二酸化炭素の排出量の増加／温暖化の促進／化石燃料の消費 →1 点

② 乾燥地域での水資源 (地下水など) の過度の消費 →1 点

(4) 3 点 (2 行)

中国の経済成長による肉類の消費拡大で飼料需要が、アメリカ合衆国でバイオエタノールの原料としての需要が、それぞれ増えた。

【加点ポイント】

① (アメリカ合衆国で) バイオエタノール／バイオ燃料／バイオマス燃料 の需要が増えた →1 点

② (中国で) 飼料の需要が増えた →1 点

③ (①の背景として) 地球温暖化／バイオエタノールは二酸化炭素を増やさない
／カーボンニュートラルである

(②の背景として) 経済成長／所得水準の向上／肉類の消費拡大／肉食の増加

} いずれかで
1 点

第 3 問

設問 A

(1) 2 点

a-(イ) b-(ア) c-(ウ)

※3 個正解 →2 点 1~2 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 4 点 (3 行)

a は石油危機後の原燃料費の高騰により国際競争力を失ったため生産が停滞し、b は日本の輸出超過による貿易摩擦と円高の影響により、生産拠点を欧米に移したため生産が激減した。

【加点ポイント】

★①②は(1)「a-(イ)」を、③④は(1)「b-(ア)」を正解していることが加点の前提

① (a は) 国際競争力を失った／生産コストが上がった／原燃料費が高騰した →1 点

② (①の背景として) 石油危機／石油ショック／オイルショック →1 点

③ (b は) 生産拠点を欧米に移した／海外進出が増えた／工場を外国に建てた →1 点

④ (③の背景として) 貿易摩擦／日本の輸出超過／アメリカの貿易赤字 →1 点

(3) 3 点 (2 行)

【指定語句】

税制優遇	ASEAN	経済特区	人件費
------	-------	------	-----

 4 つ全て 下線付きで使用

外資への税制優遇がある ASEAN の輸出加工区や中国の経済特区などに、安価な人件費を求める企業が生産拠点を移したため。

【加点ポイント】

① (減少の理由として) 生産拠点を海外に移した／国外で生産するようになった →1 点

② (海外の生産拠点として) 「ASEAN の輸出加工区」と「中国の経済特区」 →1 点

③ (②の利点として) 「税制優遇がある」ことと「人件費が安い／人件費を抑えられる」 →1 点

2019 年度 最終 1 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

設問 B

(1) 1 点 コンピュータ

(2) 4 点 (3 行)

軽量で高価なコンピュータの製品と部品は船舶輸送より空輸に適し、経済成長で人件費の上昇した沿岸部に工場を設ける必要がない。よって西部大開発でインフラが整備された内陸で立地が進んだ。

【加点ポイント】

- ① (工業の立地として) 臨空港立地型である / 空港近くに立地する / 製品の空輸に適している →1 点
- ② (①の背景として) 製品が 軽量で高価 / 軽薄短小 / 高価 / 高付加価値
/ 生産費に占める輸送費の割合が小さい →1 点
- ③・ (内陸の利点として) 人件費が安い / 土地が安い / 生産コストが安い } いずれかで
・ (東部や沿岸部の欠点として) 人件費が高い / 土地が高い / 生産コストが高い } 1 点
- ④ (地域開発事業として) 西部大開発 / 内陸部のインフラ整備 →1 点

設問 C

(1) 3 点 (3 行)

高度な理系教育を受けた技術者が豊富な上に、旧イギリス植民地であるためその多くが英語を使用できる。また、時差でアメリカ合衆国と昼夜が逆であるため、仕事を引き継ぎ合うのに適している。

【加点ポイント】

- ① (人材面として) 高度な理系教育を受けた技術者が豊富 / 理数系に強い →1 点
- ② (人材面として) 英語を話せる / 英語が公用語 →1 点
- ③ (効率面として) 時差が約 12 時間 / 時差が約半日 / アメリカ合衆国と昼夜が逆である →1 点

(2) 3 点 (2 行)

職業を世襲する内婚集団であり、集団間に上下関係が存在するジャーティとは無関係な職種が増え、身分差別の解消が進んでいる。

【加点ポイント】

- ① (ヒンドゥー教社会のルールとして) 職業を世襲する / 生まれながらに職業が決まっている →1 点
- ② (①について) 集団間に上下関係が存在する / 身分差別がある →1 点
- ③ (ソフトウェア開発や自動車工業などは) 身分と無関係である / 世襲のない新しい産業である
/ ジャーティに分類されない
/ 身分差別の解消に寄与する →1 点